

I 調査結果の概要

1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

－ 生乳生産量は2.4%減少 －

生乳生産量は772万456 tで、前年に比べ18万9,957 t (2.4%) 減少した。

図1 生乳生産量の推移 (全国)

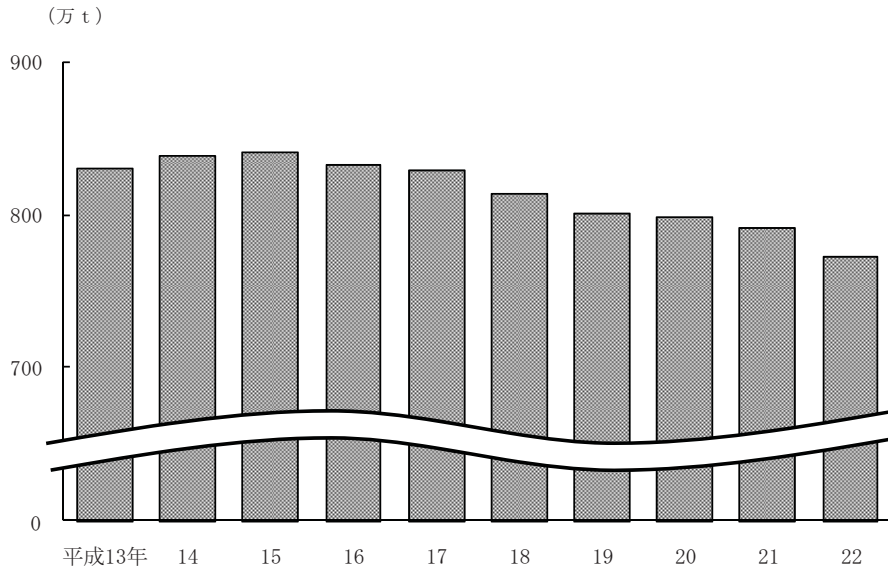
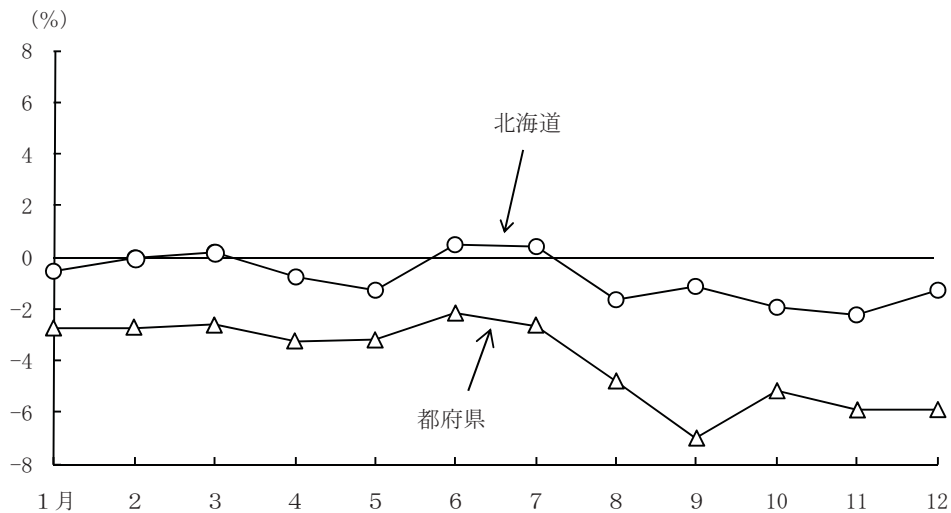


表1 生乳生産量

年次	生乳生産量			対前年比		
	全国計 t	北海道 t	都府県 t	全国計 %	北海道 %	都府県 %
平成21年	7,910,413	3,933,712	3,976,701	99.1	100.7	97.5
22	7,720,456	3,901,651	3,818,805	97.6	99.2	96.0

図2 生乳生産量の前年同月に対する増減率 (平成22年)



(2) 全国農業地域別生乳生産量

－ 北海道の生乳生産量シェアは50.5% －

全国農業地域別の生乳生産量をみると、北海道が390万1,651t（全国に占める割合50.5%）で最も多く、次いで関東が113万5,672t（同14.7%）、九州が67万6,215t（同8.8%）の順となっている。

図3 生乳生産量シェア（全国農業地域別）

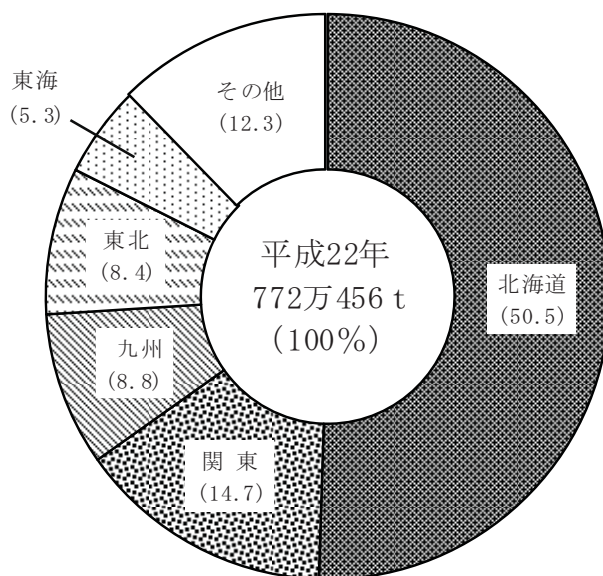


表2 生乳生産量（全国農業地域別）

年次	単位：t										
	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成21年	3,933,712	667,779	117,344	1,187,847	141,226	428,080	225,495	322,383	150,248	707,549	28,750
22	3,901,651	645,353	110,246	1,135,672	136,623	411,506	215,949	314,515	144,757	676,215	27,969
対前年比 (%)	99.2	96.6	94.0	95.6	96.7	96.1	95.8	97.6	96.3	95.6	97.3

(3) 全国農業地域別生乳移出入量

— 北海道の生乳移出入量差は38万7,479 t —

全国農業地域別の生乳移出入量をみると、移入量よりも移出量が多いのは北海道、東北、九州の順に多く、移出量よりも移入量が多いのは関東、近畿、中国の順となっている。

図4 生乳移出入量（全国農業地域別）（平成22年）

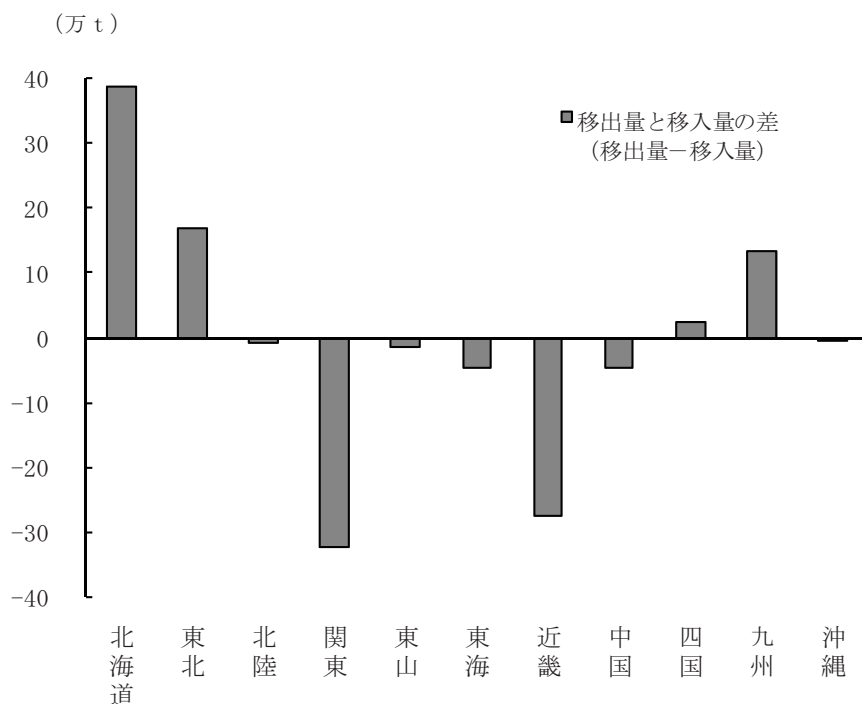


表3 移出量と移入量の差（全国農業地域別）（平成22年）

											単位：t
区分	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
移出量①	388,379	297,271	28,070	515,378	39,390	81,606	70,524	78,958	43,027	355,245	-
移入量②	900	128,441	36,119	838,907	52,245	127,160	346,036	126,168	19,114	221,750	1,008
①-②	387,479	168,830	△8,049	△323,529	△12,855	△45,554	△275,512	△47,210	23,913	133,495	△1,008

(4) 用途別処理量

－ 牛乳等向け処理量は2.7%減少 －

生乳の用途別処理量をみると、牛乳等向け処理量は414万9,598tで、前年に比べて11万4,508t(2.7%)減少し、乳製品向け処理量は349万8,582tで、前年に比べて7万1,871t(2.0%)減少した。

図5 生乳用途別処理量の前年同月に対する増減率(全国)(平成22年)

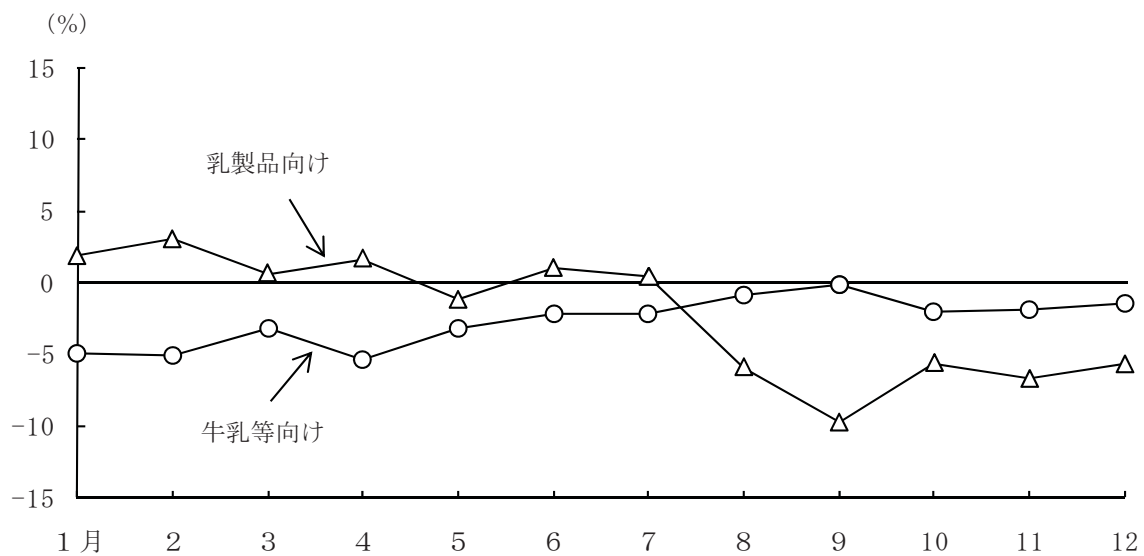


表4 生乳用途別処理量(全国)

単位：t

年次	生乳生産量	用途別処理量				
		牛乳等向け	業務用向け	乳製品向け	その他向け	欠減
平成21年	7,910,413	4,264,106	336,403	3,570,453	75,854	18,472
22	7,720,456	4,149,598	316,382	3,498,582	72,276	19,363
対前年比(%)	97.6	97.3	94.0	98.0	95.3	104.8

2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

－ 牛乳生産量は3.5%減少 －

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳生産量は306万9,268k1で、前年に比べ11万719k1(3.5%)減少し、加工乳・成分調整牛乳生産量は67万7,670k1で、前年に比べ5万3,170k1(8.5%)増加した。

図6 飲用牛乳等生産量の前年同月に対する増減率(全国)(平成22年)

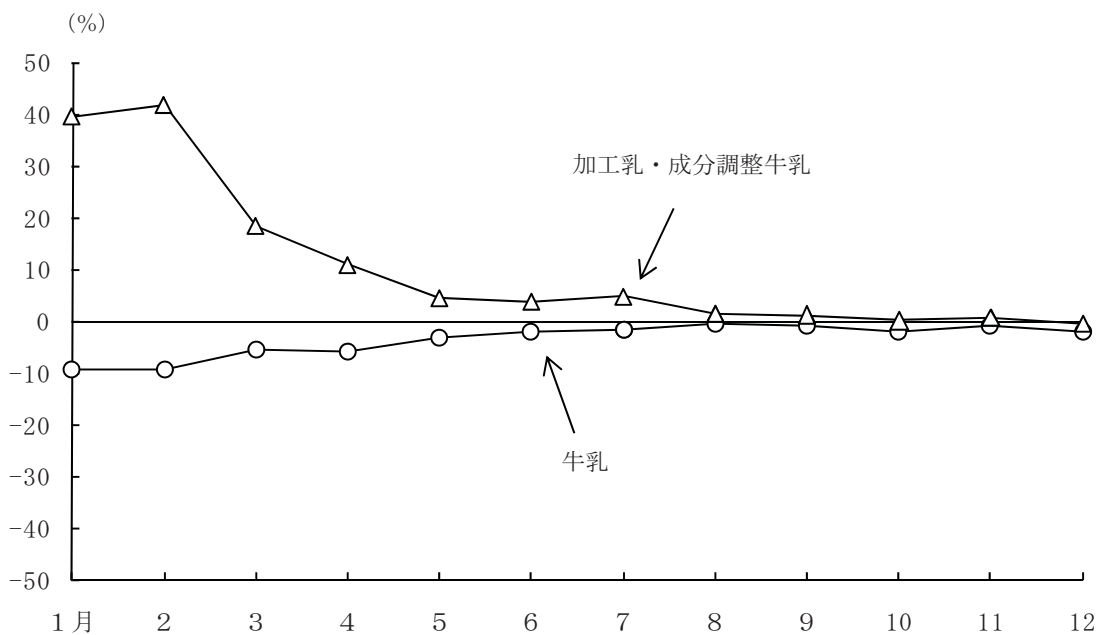


表5 飲用牛乳等生産量(全国)

年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	加工乳・成分調整牛乳			
			業務用	業務用	成分調整牛乳	
平成21年	3,804,487	3,179,987	311,700	624,500	13,555	421,921
22	3,746,938	3,069,268	289,226	677,670	25,527	435,915
対前年比(%)	98.5	96.5	92.8	108.5	188.3	103.3

単位:k1

(2) 全国農業地域別飲用牛乳等生産量

－ 関東の飲用牛乳等生産量シェアは30.8% －

全国農業地域別の飲用牛乳等生産量をみると、関東が115万5,314k1（全国に占める割合30.8%）で最も多く、次いで北海道が46万1,743k1（同12.3%）、近畿が45万2,854k1（同12.1%）の順となっている。

図7 飲用牛乳等生産量シェア（全国農業地域別）

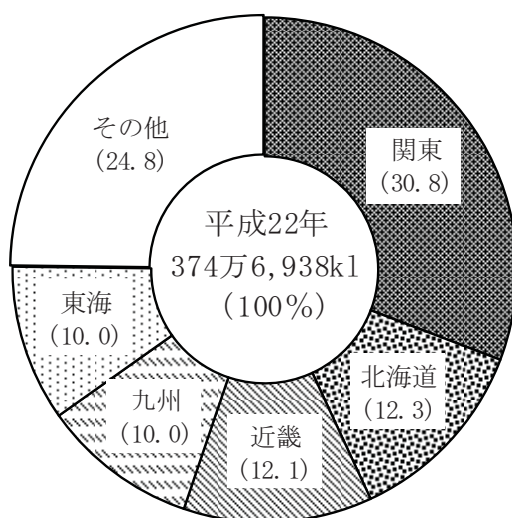


表6 飲用牛乳等生産量（全国農業地域別）

年次	単位：k1										
	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成21年	470,158	285,958	107,103	1,167,771	132,672	393,699	459,249	277,609	99,987	377,047	33,234
22	461,743	277,855	106,358	1,155,314	126,602	372,967	452,854	289,964	94,759	375,854	32,668
対前年比 (%)	98.2	97.2	99.3	98.9	95.4	94.7	98.6	104.5	94.8	99.7	98.3

(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

－ 乳飲料生産量は2.6%増加 －

乳飲料の生産量は120万9,946kl、はっ酵乳の生産量は84万988klで、前年に比べそれぞれ3万277kl(2.6%)、1万9,599kl(2.4%)増加し、乳酸菌飲料の生産量は18万3,835klで、前年に比べ1万4,805kl(7.5%)減少した。

図8 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移(全国)

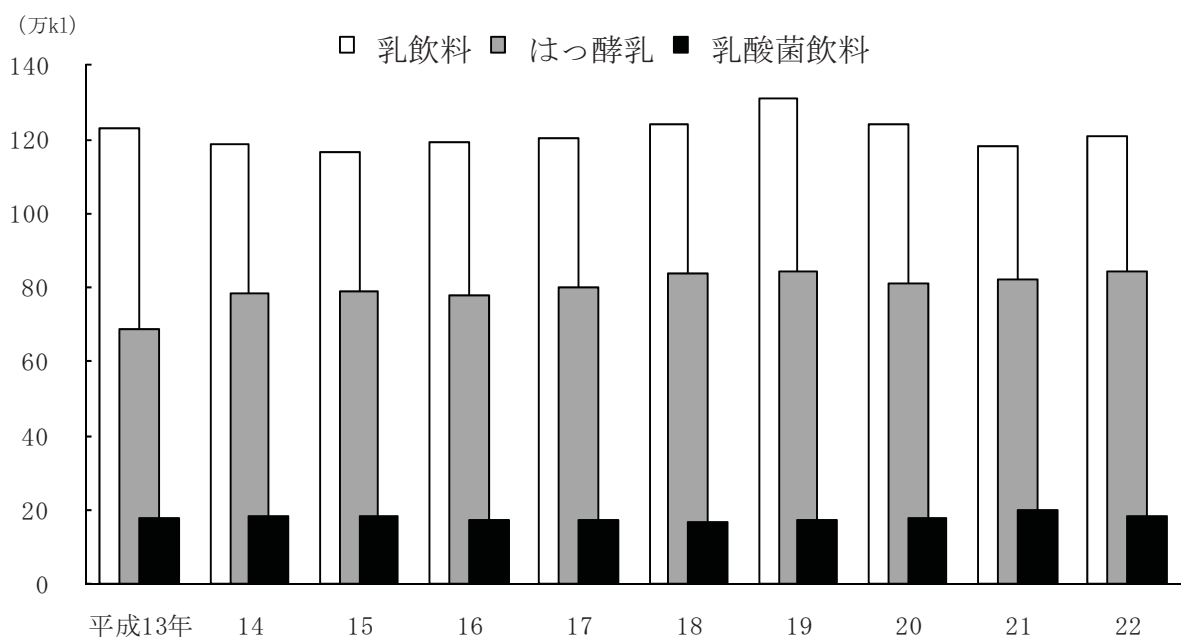


表7 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量(全国)

単位：kl			
年次	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
平成21年	1,179,669	821,389	198,640
22	1,209,946	840,988	183,835
対前年比(%)	102.6	102.4	92.5

3 乳製品生産量

－ チーズ及びクリームは増加、脱脂粉乳及びバターは減少 －

主な乳製品の生産量をみると、チーズは12万4,964 t、クリームは10万7,441 tで、前年に比べそれぞれ2,835 t (2.3%)、2,543 t (2.4%)増加した。

一方、脱脂粉乳は15万5,625 t、バターは7万3,621 tで、前年に比べそれぞれ1万1,631 t (7.0%)、7,377 t (9.1%)減少した。

図9 主要乳製品の生産量（全国）

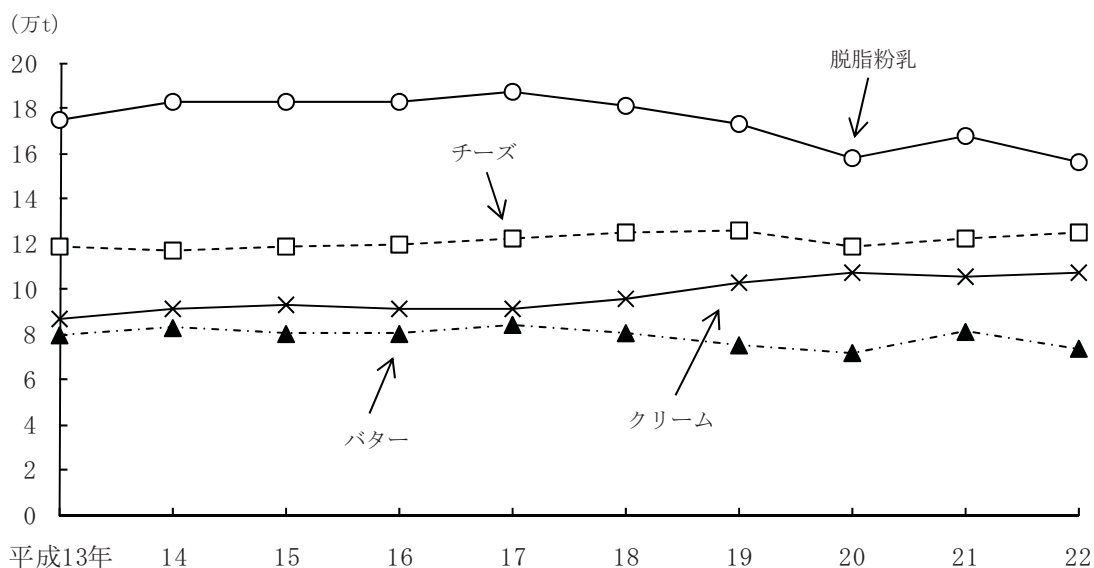


表8 乳製品生産量（全国）

年次	全粉乳	脱脂粉乳	調整粉乳	バター	クリーム
	t	t	t	t	t
平成21年	12,565	167,256	34,914	80,998	104,898
22	13,250	155,625	32,942	73,621	107,441
対前年比 (%)	105.5	93.0	94.4	90.9	102.4

年次	チーズ	れん乳		脱脂加糖れん乳	アイスクリーム
		直接消費用ナチュラルチーズ	加糖		
	t	t	t	t	kl
平成21年	122,129	19,506	39,203	943	128,614
22	124,964	19,176	36,314	921	130,589
対前年比 (%)	102.3	98.3	92.6	97.7	101.5

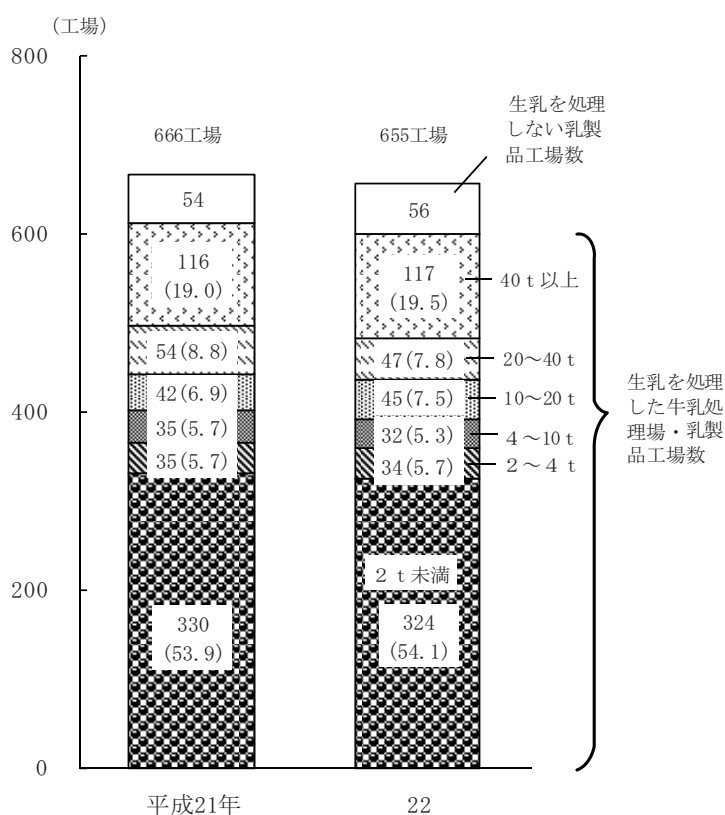
4 牛乳処理場及び乳製品工場数

(1) 処理場・工場数

－ 生乳を処理した牛乳処理場・乳製品工場数は599工場 －

平成22年12月の1日当たり生乳処理量規模別の牛乳処理場・乳製品工場数（12月31日現在）をみると、2t未満の牛乳処理場・乳製品工場が324工場で最も多く（生乳を処理した工場数に占める割合54.1%）、次いで40t以上が117工場（同19.5%）となっている。

図10 12月の1日当たり生乳処理量規模別の牛乳処理場・乳製品工場数（全国）（12月31日現在）



注：1 （ ）内は、生乳を処理した牛乳処理場・乳製品工場数を100とした生乳処理量規模別の牛乳処理場・乳製品工場数割合
 2 平成22年は、調査対象656工場のうち調査票の回収ができた655工場についての調査結果である（以下各表について同じ。）
 3 割合の合計が100%とならないのは、四捨五入によるものである。

表9 牛乳処理場・乳製品工場数（全国）

単位：工場

年次	計	経営組織別			12月の生乳処理量規模（1日当たり）						生乳を処理しない乳製品工場
		会社	農業協同組	個人・その他	2 t 未満	2 ~ 4	4 ~ 10	10 ~ 20	20 ~ 40	40 t 以上	
平成21年	666	466	49	151	330	35	35	42	54	116	54
22	655	464	49	142	324	34	32	45	47	117	56

(2) 全国農業地域別処理場・工場数

－ 関東の処理場・工場シェアは19.4% －

全国農業地域別の処理場・工場数をみると、関東が127工場（全国に占める割合19.4%）で最も多く、次いで北海道が111工場（同16.9%）、東北が78工場（同11.9%）の順となっている。

図11 処理場・工場シェア（全国農業地域別）

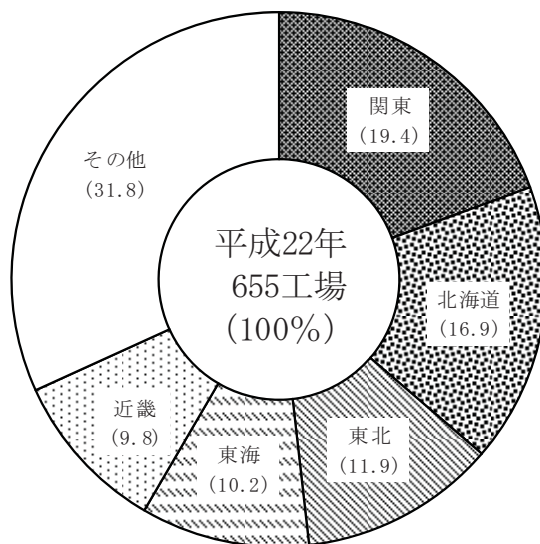


表10 処理場・工場数（全国農業地域別）

単位：工場

年次	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成21年	114	76	52	126	33	67	69	49	12	57	11
22	111	78	51	127	33	67	64	45	11	57	11

(3) 製造品目別処理場・工場数

－ 牛乳を製造した工場は471工場 －

平成22年1月から12月に牛乳乳製品を製造した牛乳処理場・乳製品工場数（12月31日現在）をみると、牛乳を製造した工場数が471工場、乳製品を製造した工場数が299工場である。

表11 飲用牛乳等、乳飲料及び乳製品を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	飲用牛乳等							乳飲料
	計	牛乳	業務用		加工乳・ 成分調整牛乳	成分調整牛乳		
			学校給食用	業務用		成分調整牛乳		
平成21年	485	484	169	238	164	10	68	279
22	472	471	165	238	159	15	69	277

注：内訳は各製品を製造した工場数であり、内訳と合計は一致しない。

年次	計	乳製品										乳脂肪分8% 以上のアイス クリーム
		粉乳			バター	クリーム	チーズ	れん乳				
		全粉乳	脱脂粉乳	調整粉乳				加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖 れん乳		
平成21年	297	16	34	6	71	90	137	118	25	7	13	116
22	299	14	33	6	70	85	136	119	25	9	13	132